

スポーツのキーワードは「いつでもどこでも、だれでも楽しめる」

いつまでも心豊かに生き生きと暮らしたい。社会の高齢化も進み、健康、スポーツに対する人々の関心は一段と高まっています。また、価値観の多様化やライフスタイルの変化に応じて、スポーツニースも変化してきました。今回は、この多様化するニースに対する「スポーツ振興」への取り組みを紹介します。

自分流儀のスポーツが始まった

人々が生涯にわたって学び続けるのが「生涯学習」なら、一人ひとりが日常生活の中で、生涯にわたって自ら楽しむスポーツが「生涯スポーツ」。学習と同様、価値観やライフスタイルの多様化に応じて、スポーツに対する考え方も変わってきました。

スポーツをする目的は、健康づくり、レクリエーション、生きがいと人それぞれ。やり方も自分の力に合わせてい

自分の生活をアレンジしながら自分流儀のスポーツを楽しむ人が増えてきました。従来の競技スポーツはこのような生涯スポーツの中でも、さらに力の限界に挑戦したい「スポーツ」として位置づけられます。

県は、このような生涯スポーツに対する支援を体育・スポーツ行政の大きな柱の一つと考え、「県民だれもがそれぞれの価値観によりスポーツを楽しめる」ような環境づくりを進めています。



女子サッカー

ゴルフやトランポリンなど、新しい競技の教室も加えられています。

また県体育保健課では、多くの方々にニーススポーツに親しんでいただくよう、二十一種目、二千三百九十三点の競技用具を準備、貸出を行っています。

身近に楽しめる生涯スポーツ

いつでも、どこでも、だれもが気軽にスポーツを楽しめるよう、学校や地域が共同利用できる複合施設（体育館・プール・グラウンドなど）の整備、さらには青年の家、小・中・高校の地域への開放などが進められています。

また、県民の多様なスポーツニースに応えるには、従来の競技用のみならず、数々の生涯スポーツにも適した施設の整備が必要となります。

平成十一年には熊本国体の開催。目下、県下では会場整備が進められていますが、国体終了後は多目的広場として県民が自由に広く活用できるよう設計されています。



ニーススポーツ…お年寄りも子どもも一緒に楽しめる

いつでも、どこでも、だれでも、楽しむニーススポーツ
ベタンク、インディアカ、グラウン

ドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、ビーチボールバレーのように競技スポーツをアレンジしたものや、ウォークラリー、ネイチャーゲームのように自然と共生するものなど、多彩な競技が生まれてきました。また、最近、身近な所で、これらを楽しんでいる姿をよく見掛けるようになりました。

だれもが気軽に楽しめるスポーツ、競技性もよびり加えたレクリエーション・レジャー性のあるもの。これが「ニーススポーツ」です。

生涯スポーツへのアプローチ

自分たちの力に合わせてルールを工夫したり、全く新しい競技を考案したり…。ニーススポーツはいろんな形で愛好者の間に広がっていきます。県ではもつとたくさんの方がニーススポーツに触れ、楽しさを知っていただくために、講習会やスポーツ大会を通して競技の紹介・指導を行っています。

平成三年、本県で開催された「第四回全国スポーツ・レクリエーション祭」。ニーススポーツの普及・振興に大きな役割を果たすものとなりました。県では翌年から「県民スポレクフェア」

を、県内十一カ所で毎年開催。生涯スポーツの県民への浸透を図っています。県民総合運動公園（熊本市石原町）では、年二回、春と秋に「ニーススポーツ大会」を開催。今秋も二十代から八十代までの約二百人が参加、爽やかなひと時を過ごしました。県立総合体育館（熊本市上熊本）では、テニス教室や水泳教室の他に、ターゲットバード



県民総合運動公園